

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

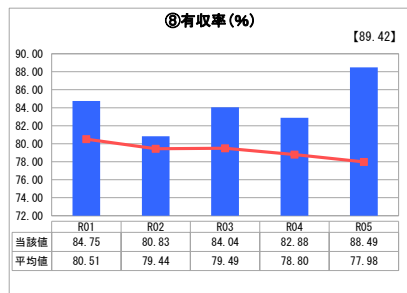
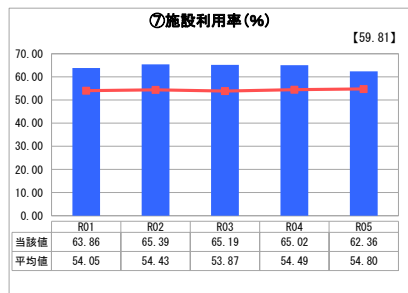
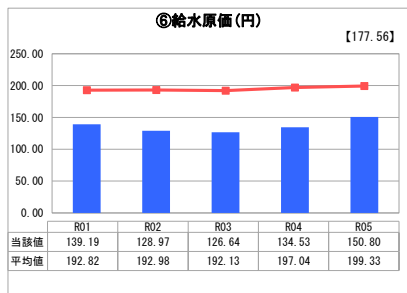
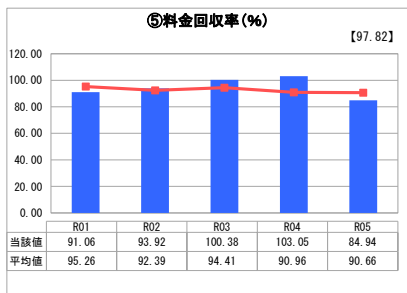
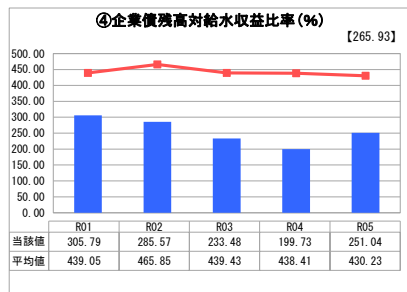
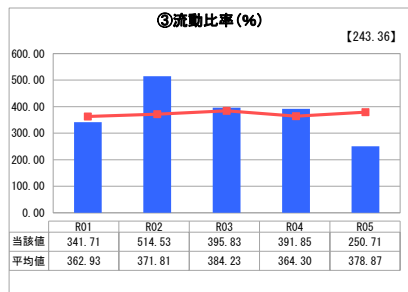
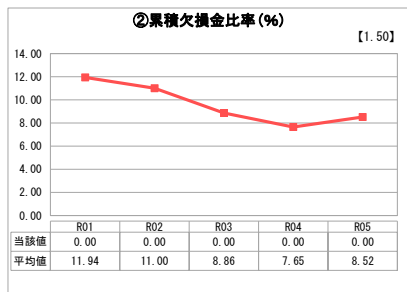
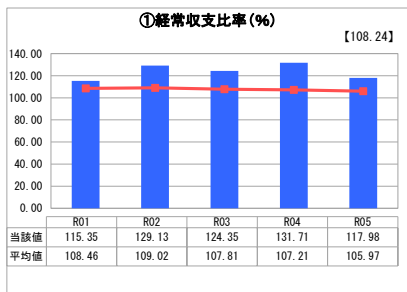
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	77.88	99.60	2,567	

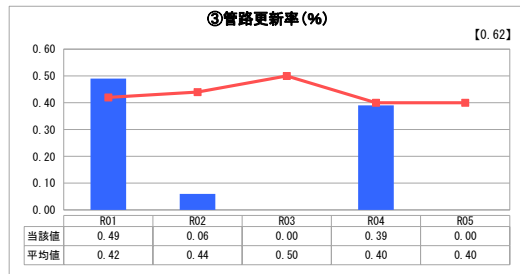
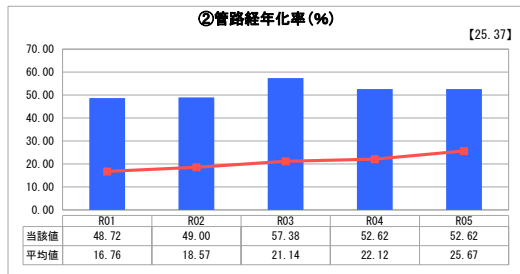
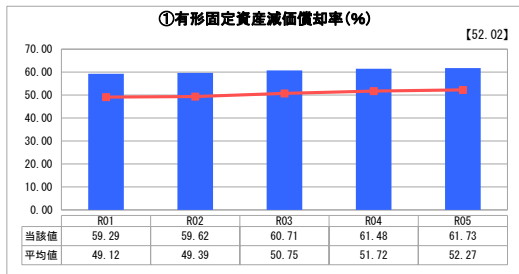
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,819	33.41	323.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,746	32.84	327.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
修繕費の増加によりおよそ14ポイント減少しているが、100%以上の数値で推移しており経営は適切である。しかし一般会計からの繰入金で費用を賄っているため、料金の見直しを検討する必要がある。

②流動比率  
工事の未払金を計上したため、前年よりも減少している。100%を上回ってはいるが、料金の見直しを検討する等財源を確保し計画的に工事を実施する。

③企業債残高対給水収益比率  
企業債の償還よりも新規の借入が上回った。さらに基本料金減免により給水収益が減収となったため、前年よりも増加している。計画的な企業債の借入を実施していく必要がある。

④料金回収率  
基本料金減免を行ったことにより、供給単価が低くなった。一般会計繰入金で給水に係る費用が賸われているため、料金の見直しを検討する。

⑤給水原価  
修繕費が増加したため、前年よりも増加している。

⑥施設利用率  
類似団体平均値を上回っており、施設の利用状況や規模が適正であると考えられる。給水人口がやや減少傾向にあるため、施設の縮小化を検討する必要がある。

⑦有収率  
漏水調査等により、前年よりも5.61ポイント増加した。今後も漏水調査や計画的な更新工事を実施する。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い固定資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新を実施する必要がある。

②管路経年化率  
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。

③管路更新率  
更新工事について、関連する道路工事や下水道工事の遅延により、次年度に繰越したことによる。美里町水道ビジョンに沿った管路の早期更新を実施する必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は平均値を上回ったが、料金回収率は平均値以下となった。これは基本料金減免の影響であると考えられるため、経営の健全性・効率性については概ね保たれているといえる。

しかし一般会計からの繰入金に依存している状態のため、給水収益のみで水道事業の経営を行えるように今後料金の見直しを検討する。

老朽化については、類似団体平均値と比べて進んでいる現状であった。有形固定資産減価償却率が高く、管路経年化率と管路更新率が低いため、美里町水道ビジョンに沿った施設及び管路の早期更新を実施する必要がある。